

『つながり、つながる』

〈登場人物一覧〉

鈴江 晴斗 (17)

早坂 結衣 (17)

伊藤 芳子 (52)

〈概要〉

鈴江晴斗は下校中、同級生の早坂結衣と地震に遭う。動揺する鈴江に対する確な指示を出す結衣。結衣は鈴江に災害にどう備えるべきか伝える。驚きつつ、なぜ結衣はそこまで備えているのか尋ねる鈴江。すると結衣は自分の母が東日本大震災の時に何もできず、病で亡くなるまで悔やんでいた事を話す。「起きたことは消えない、でもそこから人は学ぶ事ができる」そう話す結衣の言葉に、鈴江は自分もまた今からできる事をしようと決意する。

S E 蝉の鳴き声

遠く聞こえる波の音

足音

鈴江 あっちいー…：…つうか、マスクすんの  
きつつ。

鈴江（M） 梅雨が明けたばかりの、7月半  
ばの水曜。徳島の夏がいきなり本気を出し  
てきた。もう夕方だというのに、空気がじ  
つとりと熱い。

S E 遠く聞こえる踏切の音

結衣 鈴江君！

鈴江 ……は？

鈴江（M） 不意に名前を呼ばれて振り返る  
と、同じクラスの早坂結衣が駆け寄ってき  
た。早坂は俺の前まで来ると、持っていた

アクリルキーホルダーを差し出す。

結衣 （息を切らせつつ）これ鈴江君の  
よ、教室に落ちてたから。よかった、追  
ついて。

鈴江 え、あ、まじか。

結衣 はい（と渡して）。

SE キーホルダーを受け取る音

鈴江（M） キーホルダーを受け取りながら、  
何とも言えない気まずさを感じる。早坂と  
こんな風に面と向かって話したのは、初め  
てだった。早坂はつい二週間前、北海道か  
らうちの高校に転校してきたばかりで、よ  
くある転校生ならではのちやほやぶりに、  
俺はむしろうざいくらいに思っていた。

鈴江 あーっと、サンキュな。じゃー

S E スマホの緊急地震速報が鳴る

鈴江 えっ！？

S E 地震

ガシャガシャと自転車同士がぶ

つかり、倒れる

看板が揺れる音など

結衣 地震……。

鈴江 うわっ、マジ揺れてんだけど！ ちよ、

どっかに逃げないと……！

結衣 鈴江君、落ち着いて。下手に動く方が

危険だよ。まずはその塀から離れて、こっ

ちに。崩れるかもしれないから。

鈴江 えっ、あ、ああ……。

鈴江（M）早坂に言われるまま、歩道脇の民

家の塀から離れる。そのままゆらゆらと地

面は揺れて……まもなく止まった。

鈴江 ……ていうか地震長くね？ 揺れはそこ  
ままでじゃなかったけど…。

結衣 ネットで情報追いながら避難しよう。

鈴江 えっ？ ちょ、避難ってそんな大袈裟  
な。

結衣 結果的に何もなければそれでいいよ。  
行こう。

S E 足音

鈴江 あっ、ちょっと待ってって早坂！

鈴江（M） 慌てて早坂を追いかける。俺は  
正直、面食らっていた。

S E 足音

鈴江 なあ、どこに向かってんの。

結衣 この先の合同庁舎だよ、鈴江君知らない

い？　そこがここから一番近い津波避難ビルだんだけど。

鈴江　いや、全然知らないけど……逆になんで知ってるの。

結衣　引越してきてすぐ調べたから。

鈴江　うっそ、クソ真面目じゃん。

結衣　南海トラフ地震って知ってる？

鈴江　そりゃ、聞いたことあるけど。

結衣　じゃあいつか必ず起こるってことも知ってるよね。

鈴江　けどそんなきつと、何十年先とかじやん。俺、その頃もう徳島とか出てるかもしんねえし。

結衣　何十年先でも、一週間後でも、想定外のこと起きて慌てないように予めいろいろ備えておくことが大事だと私は思うよ。

鈴江　……早坂ってさ、もしかしてハザードマップ？　だっけ？　そういうのも見てんの？

結衣　先に知っておけば、いざという時に焦

らないでしょ？ それに鈴江君みたいな人がいても、安全な場所に誘導できるし。もしたら助かる可能性が増えるかもしれない。

鈴江 まじかよ……。

結衣 ……あ、津波の心配ないって出た。

SE 風が木の葉を揺らす音

鈴江（M）早坂はスマホから顔を上げると、安心したように微笑む。

結衣 鈴江君さ、悪いこと言わないから非常持ち出し袋もつくった方がいいよ。

鈴江 ……ああ、なんか……聞いたことはあるけど。

結衣 そういうの全然、してないでしょ。でもさ、それじゃいざっていう時には遅いから。あ、今はマスクも忘れちゃダメだよ。

鈴江 感染症対策までばっちりじゃん……あのさ、早坂ってさ、

伊藤 あら？ 結衣ちゃんじゃない、こんにちは。

結衣 あ、伊藤さん！ こんにちは、偶然です。

伊藤 パート帰りなのよ、ちょうど。

鈴江（M） 50代くらいだろうか、突然声をかけてきたその女性は、早坂と親しげに話を始めた。

伊藤 ねえ結衣ちゃん、彼氏？

鈴江 えっ！？

結衣 あ、いえ、同級生です。

伊藤 あらあ、そうごめんなさいね。ふふ、じゃあ結衣ちゃん、また。

結衣 はい、また今度。

鈴江（M） 何となく、早坂と一緒にあって、小さく頭を下げる。

S E 足音

鈴江 ……誰？ 今の。

結衣 同じ町内の伊藤さん。

鈴江 えっ、何、そんなに普通知り合いになる？ しかもこっちはきたばっかじゃん…  
…俺なんて同じ町内の人とか全然知らないけど。

結衣 町内の人たちの集まりに参加してるんだ。避難経路の道を掃除したりとか、一人暮らしのおじいちゃんおばあちゃんの家を回ったりとか。

鈴江 それも……いざという時のため？

結衣 うん。もし災害が起きた時、地域のコミュニティとか、人とのつながりが大事になるから。

鈴江 人とのつながり……。

結衣 被災者の心の回復だったり、復興意欲を高めることにもつながるし……助け合うって、すごく大事なんだって私は思う。

鈴江 ……さつき、言いかけたんだけど。

結衣 うん？

S E 交差点、信号が点滅する音

止まる足音

通り過ぎる車

鈴江 早坂は、どうしてそこまですんの？

結衣 え…。

鈴江 あ、いや、言いたくないとかだったら  
別にいいんだけど…。

結衣 ……東日本大震災の時、何もできな  
かった。

鈴江 ……え？

結衣 ……って、私の母はずっと後悔してた  
から。昨年、病気で死んじゃったんだけど  
ね。

鈴江 ……何も、できなかつたって…

結衣 母には気仙沼出身の親友がいたんだ、  
私もよく遊んでもらってた人でね…その

人はあの日、たまたま実家に帰ってた。でもね、その人自身は助かったの、だけどご家族が亡くなって……母は、何もすることができなかつたんだって。駆けつけることもできなかつたし、話を聞くのに精一杯で、気の利いた言葉をかけてあげることがもできなかつた。

鈴江 ……俺、正直あの時のニュースとか、ガキだったからほとんど覚えてないんだよな……。

結衣 ……うん、私もそうだった。でも、起きたことは消えないし……私は母の悲しみを知っている分、絶対になかったことにしたくない。今からだって知ることができるから。人は、そこから学ぶことができるから。

鈴江 ……うん。

結衣 事前復興、っていうんだって。

鈴江 ……今の、早坂みたいな行動？

結衣 うん、被災前から、復興に向けて取り

組むこと。もちろんその種類はたくさんあるけど。

鈴江 俺も……今からでも、遅くないかな。

結衣 いつだって、行動に移したその瞬間が一番早いんだよ。だから、遅いなんてことは絶対ない。

鈴江 ……うん、そっか……（笑って）だな。

SE メール到着音

結衣 あ、メール……え、嘘……。

鈴江 どうした？

結衣 お母さんの友達……さっき話してた人……メールくれた。実はね……ここに引越す前に手紙出したんだ、私。

鈴江 ……あのさ、俺、今からめちやくちや勝手なこと言うけど。

結衣 え……？

鈴江 早坂のお母さんってさ、何もできなかつたなんてことなかったんじゃないかな。

だって、話を聞くのも、つながりじゃん。

結衣 つ、……つながり……

鈴江 そ。……って、（苦笑）早坂の受け売りだけど。

結衣 （思わず笑って）

鈴江 俺さ……明日から、学校で話しかけてもいい？ 早坂に。

結衣 え？

鈴江 そんな、もっといろいろ教えてよ。今からでもできること。

結衣 （笑って）……もちろん！

鈴木 はは……ありがとう。

SE 風が木の葉を揺らす音

穏やかな波音が聞こえる